

OSS 会員ガイドンス

(平成 23 年 2 月 15 日改定)

この資料は OSS の会員が最低限理解していただきたい事を列挙したものです

1、OSS 誕生と経過

OSS は 2001 年 8 月に設立された「札幌シニアネット」に所属していた数名の小樽在住の会員が 2002 年 7 月に「札幌シニアネット小樽分会」を設立し、札幌シニアネット及び NORTH の全面的支援のもと 2003 年 2 月 1 日に、市民団体「小樽しりべしシニアネット」としてを誕生しました。略称の OSS は [Otaru Shiribeshi SeniorNet] の頭文字から取ったものです。

2、North や SSN YSN と OSS との関係

シニアネット運営の骨幹となるネットワークの構成には Web 環境の整備が必須です。SSN 設立にあたり North「北海道地域ネットワーク協議会 会長 辰己治之教授」の会員になる事で、ホームページやメーリングリスト等 Web 環境の全てを North から提供を受けることが出来るようになり本日に至っています。現在シニアネットで使用している Web 環境は、SSN が North から一括して割り当てられて管理を行っています。したがって OSS、YSN、SSN と North との関係を切り離れた運営は不可能で緊密な連帯意識の継続が OSS 活動の基本となっています。

3、OSS 設立の基本理念と目的

OSS 設立の趣旨は、シニア世代が「支えあい、学びあい」の精神で、PC やインターネット等の情報通信技術を学び合うことにより、会員同士が有意義な情報を共有して情報弱者にならないよう助け合って意義あるシニアライフの構築を目指すことを基本理念に、PC 学習のほか色々な活動を行っています。詳しくは「OSS の会則」などをご覧ください。

4、OSS の組織

本会の運営上 OSS には事務局や学習部など各種部局のほか「理事」「運営委員」「監事」などの職務が設置されています。理事及び監事は会員の推薦により選出され総会の承認を経て就任し任期は 2 年です。但し総会の承認を受け継続することは認められています。理事は本会の最高意思決定機関として理事会を開催し、監事は本会の会計及び会務全般の監査を実施して総会でその結果を報告します。又運営委員は各クラブの代表者と理事で構成され、運営委員会を開催して会務全体の運営について協議し円滑な本会運営に当たっています。それぞれの役員名や役職職務分担などの詳細は本会のホームページを御覧ください。

5、インターネット利用の責任

全ての会員がインターネットで結ばれた本会の性格上、ウイルス対策には万全の備えが要求されます。一会員の不注意から、組織全体へのウイルスの蔓延もあり得る事も認識して、会員各自がウイルスソフトなどによる、ウイルスの防止に万全を図ることを義務付けています。対策手段などで分からない時には、遠慮なく本会のスタッフに相談しましょう。

6、メーリングリスト利用上の取り決め

メーリングリストは「テキストメール形式」の使用が義務付けされていて、且つメールの容量も 5、7 キロバイト以下と定められています。これはウイルスメールの容量が 10 キロバイト以上で且つ添付メールで送られる事への防止策で、添付が可能な「リッチテキストメール」はメーリングリストでの使用が禁止されています。これに違反したリッチテキストメールや添付メールなどは管理者の方で自動的に削除されて宛先人に配信されないので注意しましょう。但し 個人メールでのメール交換など個人の責任で「リッチテキストメール」を使用することへの制限はありません。一般的にパソコンの初期設定は「リッチテキスト形式」が多いので、テキスト形式に設定を変更する必要がありますので、設定方法が分からない時には遠慮なく本会のスタッフに御相談ください。

7、メールの送信者名とメールへの署名

メールの送信者名には「標準的日本語（可能なら漢字）」のフルネームを使用するよう指導されています。これはウイルスメールの送信者名は不規則なアルファベットの羅列が多いことと、受信者がどこの誰からのメールか一目瞭然で判別できることへ配慮されたものです。

又 OSS ではメールの文末に「自分の署名」を付すことも指導されています。メールも手紙や葉書などと同様で差出人の署名があると受け取る人に安心感を与え、且つ 文書作成の自己責任を示す意味からも可能な限り「会員番号とアドレスを付した署名」をされることをお勧めします。

署名の作り方は パソコンの OS により違いがあるので、造り方が分からない人は自分のパソコンの OS「例えば XP とかセブンなど」を確認の上で本会スタッフに相談してください。

8、メーリングリストには「返信」をしない

メーリングリスト受信のメールに「返信」をすることは OSS では原則禁止とされています。メーリングリストに返信すると、メーリングリストに登録された全員に返信したあなたのメールが配信されるので、あなたの発信したメールに関係の無い会員に迷惑を掛ける結果となります。あなたの発信するメールが、登録会員全員に向けた内容のメールか？ 受信した不特定の会員皆がメールの内容から利益を受け得る内容か？ 登録された相当数の会員に共通して伝えたい事か？ それらをメールの内容から判断し適切なメーリングリストの活用に心掛けましょう。

9、転送メールの注意点

メールやパソコンで作成した文書であっても記述した人の著作権が存在します。作成した人に承諾無く、無断で第三者に転送したり文書内容を転載することは道義的にも許される事ではありませんし状況によっては著作権を侵害する結果にもなりかねません。OSS ではお互いが不快な思いをしないよう可能な限り、転送したい文書やメールは記述した本人の了解を得てから第三者などに配信するように指導をされています。只 7, 8, 9 項で述べた事項は OSS 独自のローカル的なルールですので、OSS 以外での利用を拘束するものではありません。

10、友好会員制度

SSN、OSS、YSN の会員には友好会員と言う三つのシニアネット共通の制度を締結して会員の便宜を図っています。この制度は夫々のネットの理事長や会長から推挙された他ネットの会員を無料で登録する制度で、友好会員に登録されると総会の議決権以外の会員活動全てが正会員同様の権利で他ネットにも参加できる制度です。只 SSN のサロンで行われる行事参加は OSS と SSN の年会費が違うため特別に 500 円を負担する事になっています。

友好会員に登録されると登録された Net でのメーリングの送受信も許可されシニアネットの輪が大きく広がる事になります。友好会員登録を希望する会員は会長にその旨申し出て下さい。

11、自己責任とボランティア活動

OSS での各種行事への参加は全て自己責任による参加となります。したがって本会が行う全ての活動（クラブ活動や学習会参加など）に起因する責任は一切本会で負いませんので安全管理や事故防止など自己責任で負担する事となります。

又 本会では役職者が職務を遂行するための費用を含め、原則無償によるボランティアでの活動をお願いしているので行事に参加した場合など積極的に御協力頂きますようお願いいたします。

12、ホームページの活用

本会で実施する 各種学習会、相談会を兼ねたサロン、各クラブの行事などは「ホームページの行事予定」に開示していますのでご覧いただき自分の意思により参加してください。

その他 OSS の過去の主な記録や各クラブ活動の様態など OSS 活動の殆んどがホームページに掲載されていますので、会員はホームページを常に開いて見るように心掛けましょう。

パソコンの Internet Explorer のバージョン（IE）によって多少ホームページの見え方が異なる場合があるので、最新へのバージョンアップをお勧めします。

13、その他

クラブによっては予めクラブ部員への登録、又本会直轄の行事を含め会場費など多少の運営費を負担いただく事がありますので御承知願います。

基本理念などでも申し述べた趣旨を理解いただき、実社会で培った個人が持つ豊富な知識を分ち合い「みんなが先生であり、生徒であり、そして共通の友達である」ことを自覚し、卑しくも派閥的行動や、いじめ等は厳に慎み、過去の地位や名誉等も本会にあっては捨てて「皆が平等の権利で仲よく尊重し合える豊かで充実したシニアネット」を会員みんなの努力で築きましょう。

最後にシニアネットでは「個人の信教、政治活動、営利活動など」本会や会員を利用する行為は厳に禁止していますので必ず守っていただきますようお願いします。

本会の事で分からない事などは「サロン」やスタッフに遠慮なくお尋ねいただき、納得の上で各種の活動に積極的に御参加いただきますよう、役職者及びスタッフ一同、心から願っています。